



「さいてって」はどんなところ？

JAとうかつ中央直営のファーマーズマーケット「さいてって」では、松戸市、鎌ケ谷市、流山市の新鮮な地場野菜、花卉、加工品を販売しています。定番の野菜からスーパーでは並ばない珍しい野菜など、様々な種類の旬野菜を取り揃えています。また、店舗には『食育ソムリエ』が常駐しており、旬の地場野菜の紹介、おすすめの食べ方や保存方法をご案内しています。

主力作物
ネギ・ダイコン・タケノコ等

さいてってには、新鮮な野菜をお届けしています。ネギは様々な料理の薬味として活躍する万能野菜。先輩農家との研修を通じて、日々農業技術を磨いています。10月のさいてって周年祭の頃からは、ダイコンの出荷もスタート予定。今後は作る品目を増やし、もっと多くの方に農業の魅力を届けていきます。

松戸市金ケ作
こぬきけん たろう
小貫健太郎さん(25歳)

主力作物
スイカ、ニンジン、ジャガイモ等

農業を始めて1年目、雑誌の編集者から農家へ転身。先輩農家から栽培技術を教わりながら、様々な品種にチャレンジする試行錯誤の毎日です。さいてってへ出荷するもので今一番のオススメはスイカです。これからも美味しいものがたくさん作れるように努力します。

鎌ケ谷市軽井沢
やすき たいすけ
鈴木 大介さん(46歳)

主力作物
アスパラガス、枝豆、ホウレンソウ、ネギ等

さいてってには、アスパラガスを中心に出荷しています。収量の多い品種を選び、鮮度と品質を重視して栽培。甘みたっぷりの枝豆もこの時期のおすすめです。苗や土づくりからこだわり、自然な甘みを引き出しています。農業を始めて5年目、これからも「おいしい!」をお届けします。

流山市平方
こばやし ゆずる
小林 譲さん(27歳)

主力作物
ピーマン、ナス、サツマイモ、里芋等

周囲の仲間たちと共に、地域農業を盛り上げようと丹精込めた野菜を作り続けています。厳しい暑さが続きますが、野菜は鮮度が一番。暑さに負けないように朝採れの新鮮野菜をさいてってにお届けします。

松戸市殿平賀
やちろ かずお
谷口 一男さん(74歳)

さいてって
米川 智幸店長

地図で「さいてって」の位置を確認してください。

営業時間 / 10:00～18:00
住所 / 〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作96-1
電話番号 / 047-711-7707
定休日 / 火曜日
駐車場 / 36台

「さいてって」の最新情報はInstagramから

@saitette_fm

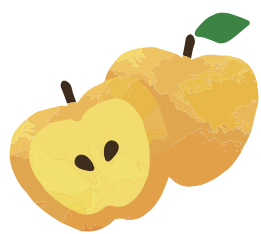
生産者一人ひとりの努力と笑顔が、お店の雰囲気を作っています。これからも心地よい買い物時間とサービスをお届けできるよう、スタッフ一同努めてまいります。

01

かがやけ！
身近で活躍する地域農業の

担い手

BEARER OF REGIONAL AGRICULTURE



果樹と向き合い、未来を育てる若き担い手



02

かがやけ！
身近で活躍する地域農業の

担い手

BEARER OF REGIONAL AGRICULTURE



納得の美味しさを皆さまへ！ 自然豊かな松戸で 挑戦を続ける

Interview

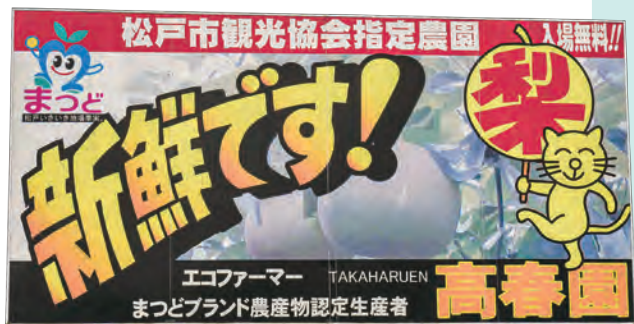
高春園

松戸市高塚新田
たかはし としあき
高橋 大一さん(35歳)

私は3人兄弟の長男で、昔から身近で一生懸命に働く両親の姿を見て育ちました。「自分もやってみよう」と自然に思い、園芸科のある高校を卒業してすぐにこの道を歩み始め、今年で15年目を迎えます。実家である松戸市高塚新田の梨農園「高春園」の4代目として、地域農業の発展に日々励んでいます。現在は両親と私の3人で、約1.6ヘクタールの畑で「幸水」や「豊水」「あきづき」といった梨を大切に育てています。梨づくりは天候に左右されやすく、計画通りにいかない難しさもあります。だからこそ、今はJAや県の講習会で、近隣の先輩方や両親から技術を教えてもらう日々です。特にこだわっ

ているのは、味を良くするために「有機肥料」をメインに使うことです。「美味しかったから今年も買いたい」というリピーターの方々の言葉や、自分が納得する最高の梨ができた時の達成感が、私の一番のやりがいです。また、食品ロスを減らしたいという思いから、地域の社会福祉法人と協力して、オリジナルの梨やキウイのジャムも作っています。「こういう食べ方も美味しいね」と喜んでいただくと、本当に励みになります。私たちの直売所では、夏は梨、冬はキウイのほか、旬の野菜やぶどうも販売しています。

秋にはさつまいも掘り体験もできます。また、随時農園の情報を発信しているのでInstagramもチェックしてください。今年の梨も順調に、とても美味しく出来上がりました。愛情を込めて育てた自慢の梨を、ぜひ皆さんに食べていただきたいです。



Interview

水野果樹園

流山市前ヶ崎
みずの かつや
水野 達矢さん(27歳)

水野果樹園のHPはこちら

大学卒業後、「実家の農家を継ぐ」と決意し、農業の世界に飛び込んだ水野達矢さん。今年で就農7年目を迎えます。現在は約2町(約2ヘクタール)の園地で、主力の梨や栗をはじめ、梅やキウイなど多角的な果樹栽培に取り組んでいます。また、地域の若手農家が集まる「4Hクラブ」にも所属。「定期的に集まって意見交換をしたり、交流を深めたりすることが良い刺激になっています」と話し、仲間と切磋琢磨しながら日々の農作業に励んでいます。「果樹が成長していく姿を見られるのが、何よりの楽しみです」と笑顔

で語る水野さん。しかし、近年の農業を取り巻く環境は決して甘くありません。「ここ数年の暑さは尋常ではありません。天候が読めず、毎年同じように手をかけても、同じように実や木が育ってくれません。今も父のもとで修行中ですが、自然を相手にすることの難しさを毎年痛感しています。」そんな試行錯誤と懸命な管理のいかもあり、今年の梨はうれしいことに「当たり年」8月初旬に出荷が始まる「幸水」をはじめ、8月下旬からは「からくり」や「あきづき」の販売も予定しています。もぎたての美味しさが詰まった梨

は、直売所で販売するほか、ファックスによる全国配送も受け付けています。この6月、水野家に待望の長女が誕生しました。「守るべき大切な人が一人増えました。この子の未来のためにも、もっとがんばりたいです」そう目元を緩ます水野さん。その視線の先にあるのは、これまで園地を守り続けてきた両親の姿です。「両親がこれまで懸命に育ててきた農産物と、この土地を僕たちがしっかり守っていきたくです」新しい家族の存在を大きな原動力に、若き担い手は今日も情熱を持って果樹の一本一本と向き合っています。